

平成 30 年 4 月 25 日

平成 30 年度学士課程一般入試 後期日程（第 7 類）における合格再判定について

国立大学法人 東京工業大学

このたび、平成 30 年 3 月に実施いたしました、平成 30 年度学士課程一般入試 後期日程（第 7 類）において、入学試験における問題文中に誤記があり、合格判定を再度行いましたので、下記のとおり公表します。

受験者の皆様、ご家族をはじめ関係の皆様にも多大なるご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

この事実を厳粛に受け止め、深く反省するとともに、影響を受けた受験者への対応と再発防止に全力で取り組んでまいります。

### 1. 入試概要

入試方法区分：平成 30 年度学士課程一般入試 後期日程

試験実施年月日：平成 30 年 3 月 13 日（火）

合格発表日：平成 30 年 3 月 20 日（火）

誤記のあった科目：総合問題

実施類：第 7 類

募集人員：35 名

受験者数：109 名

当初の合格者数：39 名

新たな合格者数：4 名

### 2. 誤記の説明

- ・誤記のあった問題：総合問題 問題 3 問 4 ※問題については、別紙 1 を参照
- ・誤記の内容：問題文中の化合物 **E** の物質量を 0.200 mmol とすべきところを、2.00 mmol とした。 ※問題の解説については、別紙 2 を参照
- ・誤記の影響：この誤記により、化合物 **E** の構造が決定できず、問 4 の一部（構造式を問う問題）、問 5、問 6、問 7 の解答に影響をおよぼす可能性が生じた。

### 3. 誤記発見の経緯

平成 30 年 4 月 20 日に外部から入試課担当者宛てに本件に関して誤記の指摘と確認依頼

の文書が郵送で届いた。当日は担当者が不在であったため、23日に本文書を開封し、直ちに学務部入試課から教育・国際連携本部入試実施部門（本学入試を統括する組織）に報告するとともに、第7類の問題作成責任者に確認を依頼し、第7類の出題にあたった教員及び問題作成に関わっていない教員も含めて検討を行った。その結果、指摘どおり誤記があったとの結論に達し、入試実施部門に報告があった。

翌24日に、この結果に対して、理事・副学長（教育担当）及び入試実施部門において再度確認を行ったところ同様の結論に達したため、学長に報告を行った。

#### 4. 誤記確認後の対応

- ・問題3の小問のうち、問4の一部（構造式を問う問題）、問5、問6、問7について、受験した全員に満点を与える取扱いとし、その上で、合格者を再判定することとした。
- ・再判定の結果、新たに4名を合格者とした。
- ・新たな合格者にはすでに連絡を取って対応を説明した。
- ・新たな合格者のうち、本学への入学を希望する者については、すでに開始している本年度の授業等に対応できるよう修学上の配慮を行う。
- ・新たな合格者の本学入学後の修学上の配慮及び補償内容等については、各個人の状況に応じて誠心誠意対応する。

#### 5. 受験者等への周知方法

総合問題の全受験者に対して、文書を郵送してお詫びの意を表するとともに、経緯、対応等を説明する。また、Webサイトにより広く周知する。

#### 6. 出題内容のチェック体制について

問題作成段階においては、出題担当教員7名が11回にわたってチェックを行い、さらに問題作成に関わっていない教員によるチェックも行ったが、誤記の発見には至らなかった。

入試ミスの防止については、本学においても体制の強化などに努めてまいりましたが、今回、このようなミスが起こったことを大変遺憾に思います。新たな合格者の方々については、修学上の配慮を含めて、誠心誠意対応させていただきます。今後は、これまで行ってきたチェック体制を再度検証して改善を図るとともに、これまで実施していなかった、出題意図の公表を含めた新たな対策について検討を進め、実施してまいります。

#### 関連資料

別紙1 入試問題

別紙2 入試問題の解説